

第十三回句会 俳句

【高点句】

- ☆露地野菜かまきり連れて届きけり 〈眞澄〉  
☆爽やかや風まかせなる遊び蔓 〈静〉  
☆語り部の命繫げよ原爆忌 〈撫子〉  
☆靈山を下りて残暑の憂き世かな 〈童心〉

【各自一句】

- ・大樹から負けじと鳴けり秋の蝉 〈撫子〉  
・鶏頭の小鉢花屋の良き位置に 〈一馬〉  
・先客は蠟螂（かまきり）なりしバンガロー 〈眞澄〉  
・夫の身を案ずる小言秋暑し 〈明美〉  
・潮騒は大海の鼓動秋暑し 〈青蛙〉  
・長雨や子らの声なく秋桜 〈安津子〉  
・わが影の地にのびてゐし残暑かな 〈静〉  
・渡し舟川面手で切り残暑かな 〈莫院〉  
・夏神事怒涛の騎馬武者勢ぞろい 〈童心〉  
・硫黄の湯ぬるりと子規の忌なりけり 〈きさ〉

\*以上、30句（3句ずつ10名）より、選句は12名による

\*高点句は、高得点の句より3句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による